



尼崎市立立花中学校
 尼崎市上ノ島町3-1-1
 tel 06-6427-3838
<http://www.ama-net.ed.jp/school/j14/>

9日から5日間 トライやる・ウィーク

阪神・淡路大震災は莫大な被害をもたらす一方、自他の生命や人権を尊重する心、ボランティア精神、共に生きる心の涵養など多くの貴重な教訓をもたらしました。これらの教訓を生かすべく「生きる力」を育む教育の充実を図るため、様々な取組をすすめてきました。また、神戸市須磨区では大変痛ましい事件が発生しました。この事件は人間としての在り方・生き方を改めて考えさせるとともに、社会生活上のルールや倫理観の育成、善悪の判断、自己責任の自覚や自律・自制の心の涵養など「心の教育」の充実を図ることの大切さを再認識させることになりました。

上記は、地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」指導の手引きからの要約です。

このような状況から、活動や体験を通して、子どもたち一人一人が自分なりの生き方を見つけれられるような取組の一つとして中学生の長期体験学習の導入していくこととなりました。兵庫県が全国に先駆けて実施した取組で現在では多くの都道府県でも行っています。

本校はこのトライやる・ウィークの目的を次のように考え、9日（月）から13日（金）までの5日間実施します。

- (1) 「生きる力」の育成を図る。
 - ・ 社会の一員としての自覚を持たせ、自分の可能性にチャレンジする心を育てる。
 - ・ 人とのコミュニケーションの大切さ、社会規範の重要性を学ばせる。
 - ・ 社会的自立に必要な「自律心」や「忍耐力」を育む。
 - ・ いろいろな立場の人の状況を知り、思いやりの心、共に生きる心や感謝の心を育てる。
- (2) 地域・家庭・学校の連携を深める。
 - ・ 「地域の子どもを地域ぐるみで育てる」という意識の醸成を図る。
 - ・ 家庭における会話の場を増やす機会とする。
 - ・ 地域の人々との交流の中で、中学生を理解してもらう機会となるようにする。

1学期から準備を始め、ようやく本番が近づいてきました。2年生の生徒達もたいへん楽しみにしています。過去にはこのトライやる・ウィークの体験をきっかけに進路先を決定した生徒もいます。2年生にとって最も大きな行事といってもいいです。お世話になるのは48事業所です。近くで見かけましたら、静かに見守ってやってください。

コープこうべ立花店、コープこうべ尼崎名神店、ピーコック武庫之荘店、阪急オアシス武庫之荘店、スーパー鮮、立花うるま保育園、立花ひよこ保育園、武庫コリス保育園、キンダーメーソントチバナ保育園、大西保育所、立花愛の園幼稚園、武庫愛の園幼稚園、立花幼稚園、たけぞの幼稚園、立花南小学校、立花北小学校、立花小学校、園田学園女子大学図書館、ロータスガーデン、女性センター・テレビエ、地域総合センター上之島、福喜園、ピッコロシアター、関西労災病院、尼崎緑化公園協会、尼崎市北消防署、尼崎市保健所・保健センター、兵庫県動物愛護センター、ベイコム総合体育館、サンシビック尼崎、シティースポーツクラブ尼崎、福永管楽器、タクマ楽器、尼崎市立小田公民館、大阪信用金庫尼崎支店、コジマ南武庫之荘、柿本輪業、尼崎市立田能資料館、和食すと立花店、デニーズ尼崎立花店、ローソン南塚口7丁目店、毎日屋クリーニング、ヤクルト販売名神センター、ポブレ、旭堂製菓株式会社、中田屋 ケーキ工房ワタナベ、立花パン工房オーヴェール

トライやる・ウィーク担当の竹田先生よりコメントをいただきました。

まもなく「トライやる・ウィーク」が始まります。スタートした頃比べて様子は様変わりしましたが、学校を離れて過ごす生徒の緊張感が変わらないと思います。また事業所の方の「いい経験をして欲しい」という気持ちもかわらないでしょう。

ですがここ数年「これはイベントなのか」という疑問を抱くこともあります。生徒達は仕事を「楽しみ」に行き、事業所も「歓迎」してくれる、そんな関係で運営されているように感じます。事後のアンケートも「よかった」「もう一度やりたい」が半数以上占めます。どうして「二度とごめんだ」「とても辛かった」という感想が出てこないのでしょうか。

トライやる・ウィークのスタート時、生徒は各事業所で精神的に鍛えられ、学校は事前指導の甘さを指摘され結構緊張感がありました。しかし厳しかったけれど生徒を地域に送り出す心構えを教わったものです。苦労の中に光を見いだせた時の感動を、などというのはもう難しいのでしょうか。「めっちゃしんどかった、途中で嫌になった」でも「ようがんばったな、と最後に言ってもらえてうれしかった」そんな感想がききたいな、と担当者は思います。

では生徒諸君5日間良い時間を過ごしてきてください。

玉井先生が帰ってこられました。 9月28日より、井上先生が担当していた授業が玉井先生の指導になりました。玉井先生は、平成26年4月より約1年半の間、英国で勉強しておられました。9月末に帰国し、すぐに授業を担当していただくことになりました。

玉井先生が、自分の経験から生徒の皆さんへ「学ぶ」ということについてアドバイスをしてくださいました。とても貴重で思いのこもった言葉で、勉強に取り組むときに常に意識してほしい助言です。

9月末に復帰しました。玉井です。よろしくお願ひします。休職中、海外の大学院で勉強し、改めて『学ぶ』ということの大変さとすばらしさを実感しました。『学ぶ』とは、先生が話していることを一方的に聞いて知識を得るようなことだけではなく、先生の話していることを自分で分析したり他の学生と議論したりしながらいろいろな角度から考えること、そして、そこで生まれた疑問点や課題をさらに調べて、理解をより深めることなのです。自ら学んでいくことは時間もかかり簡単なことではありませんが、ただ誰かから教わる何倍もの発見と感動があります。このような体験をこれから少しでも生徒達に伝えることができればと思っています。

11月の主な行事

市内統一3年学力調査	11月 4日（水）〈5教科〉
中高合同音楽会	11月 6日（金）〈3年5組出演〉
2年トライやる・ウィーク	11月9日（月）⇒13日（金）
県英語研究大会	11月10日（火）
1年わくわくオーケストラ	11月12日（木）
3年球技大会・予備懇談	11月13日（金）
教育相談・ノーチャイム着席	11月16日（月）⇒20日（金）
2学期期末テスト	11月24日（火）（数・国・技家・保体）
2学期期末テスト	11月25日（水）（英・理・社）
生徒会執行部選挙立候補受付	11月26日（木）・27日（金）
専門委員会	11月27日（金）
朝礼	11月30日（月）

オープンスクール、合唱コンクール、文化発表会では ご来校いただきありがとうございました。

23日の文化発表会では、たいへん多くの保護者の皆様のご来校いただき、展示見学、舞台鑑賞していただきました。日頃の授業やクラブ活動の成果発表を中心とした展示、そして、合唱コンクール、朗読や有志発表などの舞台発表と充実した文化発表会となりました。生徒達の頑張っている姿をご覧いただき、教育活動の一端を見ていただくよい機会となりました。

ただ、保護者の皆様様にはとても狭く暑い2階ギャラリーでの鑑賞をお願いすることとなり、申し訳ありませんでした。鑑賞しにくかったとのご意見をいただきました。改善について学校として検討していきたいと考えます。よりよい文化発表会となるよう今後も改革に努めていきます。希望や要望等がありましたら、ご連絡ください。文化発表会の様子を掲載しますので、ご覧ください。

[合唱コンクール結果]

学年 成績	1年	2年	3年
優勝	5組	5組	5組
準優勝	2組	4組	3組



オープンスクールのアンケートに回答いただき、ありがとうございました。教育活動改善の資料とさせていただきます。いただいたご意見を3つ紹介します。

廊下で子供たちとすれ違くと皆あいさつしてくれます。
とても気持ちいいです。

合唱コンクール、生徒達は皆素晴らしいです。
ただ、合唱中にしゃべっている保護者がいたので、静かにして欲しかった。

子供が卒業して30年、孫の作品を見せられました。
学校内もきれいに整理整頓できています。ありがとう。見学できたことをうれしく思っています。

表彰式

2日の朝礼ではたくさんの賞状伝達を行いました。クラブ活動、教科の研究作品、標語や作文、そして生徒会活動に関わるクラス表彰など多岐にわたりました。充分時間を取ることができなかったことが残念ですが、賞状の量はその学校の充実度合いを表します。多くある学校はおしなべて生徒の満足度が高いようです。本校もそうでありたいと願っています。クラブ活動の賞状は水泳部と陸上部でした。

今まで紹介することが少なかった教科作品等について今回は掲載します。

社会科研究作品	優秀賞	2年4組	大川瑠奈（歴史新聞「伊勢神宮新聞」）	
理科研究発表会	優秀	2年5組	増田和紗	
	入賞	1年2組	鍛示笑香	2年4組
青少年健全育成非行 防止標語 校内審査	金賞	2年5組	眞島勇馬	
			「だれよりも 厳しくするのは 自分自身」	
		3年2組	別宮季奈	
			「LINEでは 大事なことは 伝わらない」	
		3年3組	小西希望	
			「メールより 言葉で伝える あたたかさ」	
	銀賞	1年3組	宇都宮花奈	
			「小さな手 協力すれば 大きな手」	
		2年1組	樺山 舞	
			「つなげよう みんなの笑顔の魔法の輪」	
		2年4組	阪本歩花	
			「差し伸ばす あなたの優しさ 救いの手」	
		3年2組	若狭有咲	
		「悩むなら 相談しよう 親や友」		
	3年4組	八木 誉		
		「「やめようよ」 小さい一言 大きな一歩」		
	3年5組	山城理奈		
		「救いの手 誰より先に 自分から」		

グラウンド復旧工事 完了



本校のグラウンド下には東西に暗渠が通っています。この一部が破損していました。囲いを設置して、授業やクラブ活動では支障がないよう注意していました。それでも、少し狭くなるので不便でした。この破損の復旧作業を10月末に実施してもらいました。これで心置きなく活動できます。